

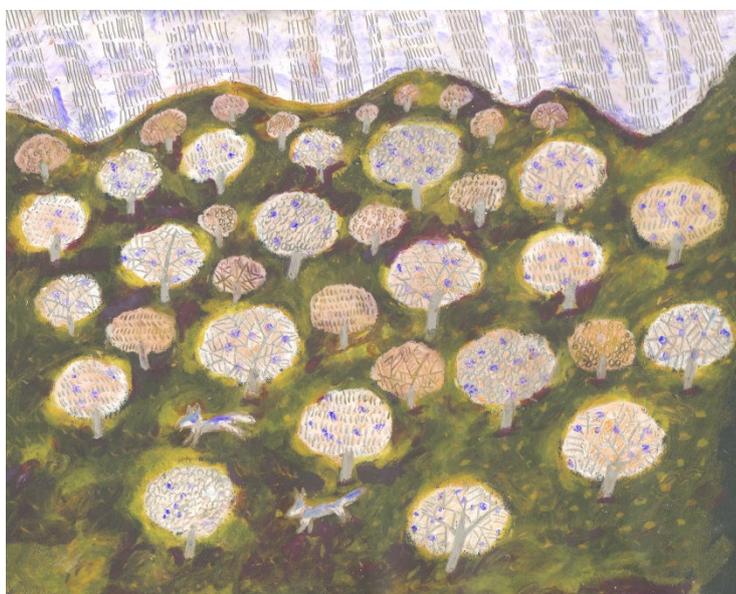
誰のため、何のためのTPP

我ら”兵十”は撃つな

物語り「ごんぎつね」を覚えている人は多いと思います。

只々日々を精一杯生きる”兵十”が、取り返しのつかぬことをしてしまいました。”ごん”と”兵十”は、最後に心通わせるのですが、共に生きる機会は失われたのです。”ごん”は、福島のこと、農村のこと、海の向こうのこと、身の回りの有形、無形の諸々のことです。

”兵十”は、我々のことです。



TPPは、勇敢な選択のように喧伝されていますが、身の回りにいる人びと、当たり前のことを、貶めます。

TPPは、降ってわいた話ではなく、過去数十年の延長上にあります。TPPは、横暴を制止する権利を参加国が互いに放棄する取り決めです。

我らが直接撃たなくとも、他の誰かが、我らが”ごん”を、お金のために倒すことを許すこととなります。

新たなFTA、EPAにのめり込むこの国の姿は、”ごん”を撃ったことを悔やんだはずの”兵十”が、別の”ごん”を世界中に求めては、憑かれたように撃ち続け、己もあちこち撃ち抜かれ、身も心も損なわれる様です。

不毛な戦いに明け暮れ、世界を殺伐とさせる勝者のいない競争。

TPPに大義はありますか？

性急に経済的利益を求める以外に、動機は見つかりません。

成長・発展とは何のことでしょう？

世界はかつて、これから先も、意図しなくても、ゆっくりと、程よく混ざってゆきます。

我々の身の回りをよく眺めれば、こじ開ける必要も、かなぐり捨てる必要もないことがよくわかります。

2013年5月25日

埼玉県大里郡寄居町 伊藤 晃

菜園「野の扉」HPのTPPに関するページ <http://nonotobira.typepad.jp/new/tpp.html>

「いやだね！TPP 寄居町連絡会」 <http://notpp-yorii.jimdo.com>